

令和3年度 第1回 宇都宮市食育推進会議 議事録

■ 日 時 令和3年8月2日(月)午後1時30分～午後2時30分

■ 場 所 宇都宮市役所14階 14A会議室

■ 出席者

1 委 員 (15名)

大森玲子会長, 内藤良弘委員, 渡辺道仁委員, 大房一裕委員, 北條雅人委員,
岩本眞砂枝委員, 石川晴美委員, 坂本治己委員, 増淵祥子委員, 塩澤美枝子委員,
高橋友久委員, 檜原貞亮委員, 半田俊夫委員, 荒川昭子委員, 坂本理江子委員
※欠席委員(5名): 遠藤秀樹委員, 手塚浩子委員, 福田治久委員, 中野智之委員,
増淵静枝委員

2 事務局 (12名)

[保健福祉部] 次長(保健衛生担当), 保健所長

[健康増進課] 課長, 保健センター所長, 企画G係長, 健康づくりG係長, 職員3名

[学校健康課] 学校食育G係長, 職員1名

[農林生産流通課] 職員1名

■ 公開・非公開の別 公開

■ 傍聴者 なし

■ 会議経過

1 開 会

- ・ 委員の過半数が出席しており, 本会議は有効であることを報告
- ・ 「附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき, 会議公開について説明, 了承

2 あいさつ(省略)

3 委員紹介

4 副会長の選出

- ・ 前副会長が退任したことから, 宇都宮市食育推進会議規則に基づき, 委員の互選により,
副会長に第1号委員・渡辺道仁委員を選出

5 議 事

(1) 報告事項

ア 「第3次宇都宮市食育推進計画」の取組状況と評価について

イ 「令和2年度食育に関する意識調査」の結果について

ウ 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の策定について

(2) 協議事項

ア 「(仮称)第4次宇都宮市食育推進計画」の方向性について

6 委員からの主な意見・質問等（要旨）

(1) 報告事項

ア 「第3次宇都宮市食育推進計画」の取組状況と評価について

意見等なし

イ 「令和2年度食育に関する意識調査」の結果について

● 委員

意識調査について一般（成人）の有効回収率が54.6%と半数近くだが、回答者は食育に興味がある方が回答していると考えられる。有効回収率の重要性について意見を伺いたい。

◎ 会長

報酬がない郵送式のアンケートについては、学問的に見ると、回収率が3割を超えれば非常によい回収率と言われているため、回収率が5割を超えていれば、結果として有効な数と考えられる。前回調査時の回収率と合わせて事務局に伺いたい。

○ 事務局

前は平成28年6月に実施しており、一般（成人）の回収率は44.1%だった。委員御指摘の通り、食育に関心がある方が回答している等の偏りは考えられるかもしれないが、有効な回答と考える。

● 委員

資料2-3意識調査の結果の中で、朝ごはんを毎日食べている小学生6年生、若い世代の方の割合が減少しているが、その理由がわかれば伺いたい。

○ 事務局

幼児、小学生では、朝食を食べない理由は、「食欲がない」が39.1%、「朝食を食べる時間に起きない」が34.8%、「時間がない」が17.4%となっている。

一般では、「時間がない」、「食欲がわからない」、「朝食を食べるより寝たい」がそれぞれ2割程度の回答となっている。

● 委員

コロナ禍で、家庭で過ごす時間が増えていると思うが、家で3食食べる機会が増えている。幼稚園児や小学生が「朝から食欲がない」「朝食を食べる時間に起きない」というのは朝食の問題ではなく、生活リズムやライフスタイルの問題だと思うので、ライフスタイルに関しても問題意識を持たなければいけないと思う。

◎ 会長

調査結果を踏まえて、第4次食育推進計画を策定していくため、今いただいた意見を取り入れながら策定していきたい。

朝食の欠食について、学校現場の立場から石川委員から状況を伺いたい。

● 委員

朝ごはん食べてこない児童は限られていると思うが、生活リズムが乱れていると感じる。特に夜遅くまでゲームをしているという実態は以前よりも増えていると感じている。

ウ 「(仮称) 第4次宇都宮市食育推進計画」の策定について

意見等なし

(2) 協議事項

ア 「(仮称) 第4次宇都宮市食育推進計画」の方向性について

● 委員

市民一人ひとりの健康づくりは大変いいと思うが、ライフステージ以外の生活水準や職業など様々な状況も考慮した方がよいと考える。

インターネットの情報では、朝食抜きダイエットが一部で流行っているとの記事を見る機会があった。朝食を欠食する人の中には、ネットなどを見る人にその傾向の可能性があるため、ライフステージ以外の要因を踏まえるとより良い計画が作れると考えるが意見を伺いたい。

◎ 会長

ただいま、ライフステージとともに食環境の整備に関するご提案があった。

SNSで馴染んでいるネット仲間の食事スタイルを真似するというような報告が海外、特にイギリスで出ているようだ。

○ 事務局

委員の意見について、計画の方向性とイメージ(案)の中の「食を通した市民一人ひとりの健康づくり」の中の「健全な食生活に向けた環境づくりの推進」において検討していきたい。

● 委員

今回の方向性は、第3次計画まで取り組んできたことを継続していくものと意識調査結果を基に課題となっていくものが含まれると思うので、概ね良いと考える。

国や県、他自治体も食育推進計画を作っている中で、宇都宮の特徴を把握するために全国や他市と比較の調査が行えるとよい。その中で他市の良い点を参考にすることも必要と考える。

○ 事務局

健康づくりに関心がない市民においても自然に健康に配慮された食が選択される環境づくりを位置付けたところである。

◎ 会長

意識調査の結果で、本市の縦断的な推移が記載されているが、国や県も同じ調査をやっているものがあれば、横断的に比較すると、本市の強い部分や弱い部分が浮き彫りになる。

- 事務局
その方向で考える。
- 委員
足元だけを見ていてもわからない。47都道府県もあるので、いいところは真似をして、劣っているところは考慮して欲しい。
- 委員
認定こども園で新しい取組として雑穀米を取り入れた。保護者からなぜ白米ではないのかという意見ももらっているが、園児たちは適応がすすんでいる。働く保護者が増えている中で、家庭における食に対する時間が乏しくなっていると感じる。家庭での取組も限界があると感じる。
- 委員
市のミヤリーのLINEで食育に関する取組があっても良いのではないか。
- 委員
保護者に対するアプローチが必要であり、保護者がわかりやすい取り組みが必要と感じた。
- ◎ 会長
計画の方向性のイメージの中に、SDGsの観点を盛り込むことを提案したい。
- 事務局
横断的な視点とともに、SDGsの観点も盛り込んでいきたい。

7 その他

- 委員
貧困の子どもだけでなく、貧困世帯へのアプローチがあるとよい。
- 事務局
「多様な暮らしに対応する食育の推進」の中で考えたい。
- 事務局
次回会議日程の説明

8 閉会